

時 間 表	
大門口開	
行	
大坂	01.2
京都	01.2
大阪	01.2
神戶	01.2
名古屋	01.2
東京	01.2
仙台	01.2
札幌	01.2
函館	01.2
青森	01.2
岩手	01.2
秋田	01.2
山形	01.2
福島	01.2
茨城	01.2
栃木	01.2
群馬	01.2
埼玉	01.2
千葉	01.2
東京	01.2
神奈川	01.2
山梨	01.2
長野	01.2
岐阜	01.2
富山	01.2
石川	01.2
福井	01.2
滋賀	01.2
京都	01.2
大阪	01.2
兵庫	01.2
奈良	01.2
和歌山	01.2
鳥取	01.2
島根	01.2
岡山	01.2
広島	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	01.2
長門	01.2
山口	01.2
徳島	01.2
高松	01.2
愛媛	01.2
高知	01.2
福岡	01.2
佐賀	

人の一生は重き荷を負ふて
遠き道を行くが如し急ぐ
可からず

▲結核菌の抵抗力(續)

結核菌は酸素を必要とする。呼吸器の存する様に考へてゐるが、蒸散し飛び出して来るもので、乾燥した膜に常湿潤して居るから、呼吸器の粘膜に付着して居る時に、呼吸器の粘膜に吸着され、水分を奪ひ出し、乾燥させ、肺組織の中に侵入するものである。この時、呼吸器の粘膜に付着した結核菌は、呼吸器の粘膜に吸着され、水分を奪ひ出し、乾燥させ、肺組織の中に侵入するものである。この時、呼吸器の粘膜に付着した結核菌は、呼吸器の粘膜に吸着され、水分を奪ひ出し、乾燥させ、肺組織の中に侵入するものである。

三皮膚や消化器に入りて肺に侵入するものは、以上肺結核菌と肺炎球菌である。肺炎球菌は、呼吸器の粘膜に付着し、呼吸器の粘膜に吸着され、水分を奪ひ出し、乾燥させ、肺組織の中に侵入するものである。この時、呼吸器の粘膜に付着した肺炎球菌は、呼吸器の粘膜に吸着され、水分を奪ひ出し、乾燥させ、肺組織の中に侵入するものである。

を經過するにあらざれば其の利益は
能はざりしが近來洋隊を飼養す

各地に見受けるるが就中京城、浪速、鎮南浦、北曹州等に於て難の飼養の益あるを悟り此の種の人に行はれ居るが今同仁川の家人に於て野馳氏は農商省省に於て獸醫長として居るが今二十八日豚種八頭を飼ひ去るは農商省省に於けるが同氏は農商工部事務を爲め希望者に類たんと而して今けたる浮豚の成熟は生後約十ヶ月と云ふ

●賜授産場露況

恩賜授産場露況の現況を聞く四五の雨日に増立をなしたる露夜より三眠に入るべき苦なるが

過さざるも其成績は極めて良

今内
 の多
 かり
 五萬
 圓を
 計上
 せり
 と



石炭 五割減の燒爐發明
 余の放資する事業と人 宿安田
 發達せざる青年 役 高橋
 三職工と寝食奮闘重役 中 役
 年間大隈濫澤森村同行 快
 惡口癖矯正法 新渡 博
 幽鬱内氣の青年に 答 增田 士
 名勝舊蹟保存論 伯 松本 啓
 少壯實業妻君評判記
 實權を握る實業若手連 堀田 士
 腦神經の十種食物 堀田 士
 當今名流半面のうら
 南洋に見る新事業 恒藤 博士
 轉業の可否と相談する 衛
 帝 同級生浮沈の行衛
 大學 取引先は不注意の失敗
 之の日本社振興貯金口座式六卷

する。外に御口上ごさうりませぬ
 「口上はごさうりませぬ、なれど一
 御奉公申上げた上、家に兩親あ
 る思ふな、世に同胞ある思ふな、
 御前東方へさし上げたものと親
 一瞬に忠節を勵むやう、きとれ傳
 へます」
 「御口上具さに申し上げるでござ
 います」
 子と思ふ親心の切なさは、その聲
 に血の色見え、うの聲に恩愛の
 ありき。

廣 告

名譽城戸文鎮

キンブレード

機關用堅牢三本

三分厚 高十尺 經四尺
 橫三寸半 一本
 三分厚 長八寸 經三寸
 一本

同

橫三寸半 長八寸 經三寸
 一本

發電機

煙筒 一分厚 內經一
 寸長三十尺
 鐵管 市經一吋半
 四吋半

右賣却仕候

京城黃金町三番目
 電話二四九番

酒井組

眼科

京城本町六丁目
 (元京司令館通)

金井眼科醫院

前大津醫院
 眼科部長 金井壽七

[illegible]

に教鞭を取つてゐる事だ
に二班に分れて八十名の學生が居
る教師が男生徒を教授する學校も
ある。先生が生徒を打つ處もある、
其の距離は三四丁だ、ハ、ハ、成
マツドルユージだ
第五夜、興化學校
土圍く相對して、興化學校内に、
アサヒ
ビール

「や、これは奥様、よく御來せよ
ました、先刻は殊の外邪邪、
御託の致しやうもござりませぬ
術は何時の露合にも眞情籠り
も角も御安心なされませ、若旦那
分は私方に御逗留のれ積りでござ
何から何まで、此方權作に爲
と力方は痛み入りながら「それ
もうた上りか」
「い、い、い」と頭を擡つて「ま
「それは幸ひ、實はね道へ托た
ござつて」
「れ安い御用でござります、今、
門限に間もござりませぬゆへ、
朝に爲されても仔細ござりませ
「然し、私の爲めに時待てては
ない、それぞの何れにれ越し爲
や、
云々同様の移りの中、お察は察

日那様へ御安心を爲せ申し候
 もばかり、眞外ながら道様背
 徳あるを忘れござりまするな
 「嬉しい御日上、それ承はつて
 沈着ぐやうに思ひます」とい
 常々膝を前めて「今日感ふ
 儀でもござりませぬ、あなな知
 のの上りの序、れ道へ托けたいもの
 上へ仰せ下さるませ」
 の「什麼か知りませぬが、御達
 云ふ中に力は懐中より一
 を取り出し、同時に小さき
 れたる持薬等を取り出し
 の「これに手紙ど、薬どござ
 この手紙は私の存じつゝ、紫
 今薬、それに祖母様へ記念
 とござります、これを道手へ
 りとござります」

筑前琵琶 高峯 鈴木 井外
 明治四十四年六月一日
 京成居留民團

風 座 志曉郎 公告 通スル 五以上 以上 現ニシ 以上 圖以上 ス希望 及實地 一時限 之ヲ即 之ヲ燈 又所

廣州行
新定平書

行

[illegible]

南行
仁德永龍
川錦山
雲霞發
(行急)
九九八八
九九八八
一一〇〇

一四一
 一四二
 一四三
 一四四
 一四五
 一四六
 一四七
 一四八
 一四九
 一五〇
 一五一
 一五二
 一五三
 一五四
 一五五
 一五六
 一五七
 一五八
 一五九
 一六〇
 一六一
 一六二
 一六三
 一六四
 一六五
 一六六
 一六七
 一六八
 一六九
 一七〇
 一七一
 一七二
 一七三
 一七四
 一七五
 一七六
 一七七
 一七八
 一七九
 一八〇
 一八一
 一八二
 一八三
 一八四
 一八五
 一八六
 一八七
 一八八
 一八九
 一九〇
 一九一
 一九二
 一九三
 一九四
 一九五
 一九六
 一九七
 一九八
 一九九
 二〇〇

10-11
10-12
10-13
10-14
10-15

清州通信 (通信員)

には先づ人の養成を以て第一義とせり。是れは先づ人の養成を以て第一義とせり。

時に在留する人は凡て朝鮮人を我が子と
兄弟と思ひ之を誘導扶掖し以て立派なる雅
の父兄備よりは只一二婦人の衆観あり

井上氏招待會 滯京中の井上世
一氏招待會は一日の夜京城ホテルにの

人の進む所あり殊に當今言論取締二錢
嚴密なる中に立ち六月號中旭邦子の十一
演中なりし山根活動寫眞師は今般地五

錢の三種にして昨夜映出の演題は忠
 義の三種にして昨夜映出の演題は忠
 義の三種にして昨夜映出の演題は忠
 義の三種にして昨夜映出の演題は忠

の輩とは、屬僚若しくは伴食とし
使すべしとの時あらんぞ。

なぞ怪からんと數圍さ、
反逆に釋
設法は振つて居る。
所愛に訂正す

同 南山町三丁目百十四番戸 電話五七九番
曾野峻輔 電話一四〇九番
同 本町一丁目卅五番戸
同 內田道之輔
同 本町五丁目十番戸
藤 釘本藤次郎 電話四四五番
振替口隆京城二五六番

同 古市町四十番戸 振替口隆京城四七五番
同 電話一四〇九番
同 榮山國太郎 電話二一九八番
同 明治町一丁目九十九番戸
同 森村太郎 電話六六九番
同 倉庫支店 同 南山町三丁目三番戸
同 電話九六五番 電話五五六番

電話九三三

旅館貸席
 浴客
 鐵冷溫泉
 泉
 三吉里海濱飯店
 成歡九月十七日廿二日
 仁川本町四丁目
 合資秋田商會船舶部
 會社